

非常持ち出し品と備蓄品

非常持ち出し品

ポイント

- 避難する時に持ち出すものを、すぐに持ち出せるようにリュックサックなどにまとめておきましょう。
- メガネや常備薬、粉ミルクなど、個人や家庭によって必要なものは違いますので、自分にとって必要なものを準備しておきましょう。

貴重品

- 現金
- 身分証明書
- カード類
- 予備のキー(自宅や車など)

飲料水・食料

- 飲料水(ペットボトル)
- 非常食(カンパン、缶詰等)

情報を得るためのもの

- 携帯ラジオ
- 携帯電話等の充電器
- 乾電池(予備)
- 筆記用具、メモ帳

衛生用品

- 感染症対策用品(マスクなど)
- ティッシュ・ウェットティッシュ
- 簡易トイレ

生活用品

- 懐中電灯(電池入り)
- 軍手・皮手袋
- タオル・風呂敷
- ポリ袋
- 万能ナイフ
- レインコート・雨具・簡易防寒具
- 着替え・スリッパ
- 使い捨てカイロ

備蓄品

ポイント

- 災害発生時、ライフラインの途絶や、物流のストップにより、普段の生活ができなくなります。また、最初の72時間は消火や人命救助が最優先となるため、行政等からの支援には時間がかかります。
- 普段から自分や家族の状況に応じた備蓄をこころがけましょう。
- ローリングストック(右記)で普段食べているものを備蓄しておく、非常時でもいつもと同じ食事ができます。

飲料水・食料

- 飲料水
- お米やアルファ米
- レトルト食品、缶詰、乾物、調味料
- 食事に必要なもの**
- 紙皿・紙コップ・割り箸
- 食品用ラップ
- 缶切り・万能ナイフ
- ポリタンク
- カセットコンロ、予備のボンベ

生活用品

- 歯ブラシ・口腔ケア用品
- 衣類(季節に応じたもの)、毛布
- プルシート(雨漏れ防止)
- 工具類(パール、ハンマー等)
- ガムテープ+油性ペン
- ポリ袋(小・中・大)・手提げ袋
- 新聞紙(多用途に使えます)
- タオル
- 乾電池
- ろうそく
- ダンボール
- 養生テープ
- 携帯トイレ

最低3日分(できれば1週間分)の備蓄品を用意しましょう。

ローリングストックで日常的に備蓄しましょう

- ローリングストックは、普段の食材を多めに買い置きしておき、使った分を買い足して災害に備える方法です。この方法であれば、備蓄品の鮮度を保ちながら、災害時も日常に近い生活を送ることができます。



防災用品のあっせん

台東区では東京都葛飾福祉工場と連携して、防災用品のあっせんを行なっています。

あっせん価格は定価の2割引きになっています。詳しくは台東区役所10階(危機・災害対策課)、各区分事務所、地区センター等で配布中の右記あっせんチラシをご覧ください(配布時期により、色・デザインなどが異なる場合があります。)

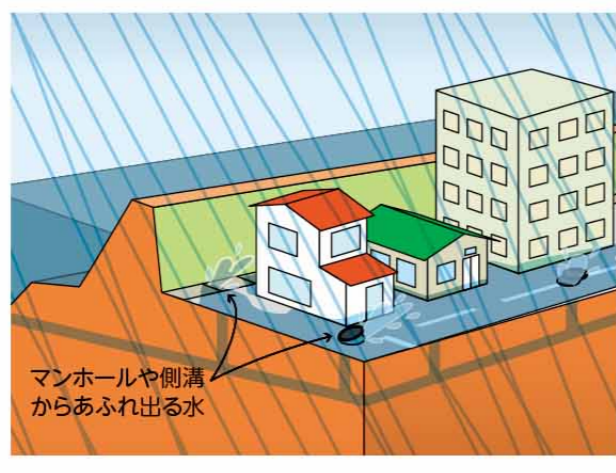


内水氾濫

地表面の多くがアスファルトに覆われている都市部で、短時間に局地的な大雨が降ると、下水道や排水路による排水が追いつかなくなり、建物や土地、道路などが浸水してしまう現象です。

特徴

- 降雨から浸水被害が発生するまでの時間が短いです。
- 河川から離れた場所でも浸水が発生します。
- 浸水深が浅く、浸水継続時間も短いです。
- 区では、無理に外に出て避難するよりも、自宅が2階建以上の場合は、2階以上に避難する在宅避難を推奨しています。
- 地下空間やアンダーパス、周辺に比べて低い場所は浸水被害が発生しやすいです。



もしもの時に備えよう (浸水被害の軽減)

① 家屋への浸水を軽減する

浸水が浅い場合は、家庭にあるものを使って家屋や地下駐車場などへの浸水を防ぐことができます。

ポリ袋で簡易水のう

ポリ袋を2重にして中に水を入れて絞め、段ボール箱などに入れて浸水を防ぎます。



ポリタンクとレジャーシート

ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込みます。



プランターとレジャーシート

土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み使用します。



止水板

出入り口を長めの板で塞いで浸水を防ぎます。



② 家財の被害を軽減する

- 貴重品や重要書類は、浸水を免れる高い場所に移しましょう。
- 移動可能な家電製品は高い場所へ移動しましょう。
- 自動車は早めに浸水を免れる場所へ移動しましょう。
- アルバムなど思い出の品も持ち出せる場合は移動しましょう。



③ 水道・電気・ガス・トイレなどライフラインの停止に備える

ライフラインの停止が長期に及ぶ可能性があります。ライフラインが復旧するまでの数日間、飲料水や食料などの備蓄を行いましょう。

- 備蓄の一部も浸水を免れる場所へ移動しましょう。
- 数日分の着替えとして、衣類を持ち出しておきましょう。



避難をするときは

① 避難情報(避難を促す情報)

＜台東区が地域を指定して発令＞

風水害時に災害が発生するおそれのある場合、区は、警戒レベルを付した避難情報を発令します。避難情報は、気象庁等から発表される防災気象情報に基づき、区が発令するものです。

警戒レベル	避難情報等	とるべき行動
レベル3	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難!
レベル4	避難指示	危険な場所から 全員避難!
レベル5	緊急安全確保	すでに災害が発生している状況 命を守るための最善の行動を!

荒川氾濫が想定される場合は、警戒レベル3の発令前でも自主的広域避難情報を発表します。浸水想定区域の外へ避難してください。

② 防災気象情報(天候や河川の情報)

＜気象庁等が発表＞

気象庁は、防災気象情報に警戒レベル相当情報を付けて発表します。防災気象情報は、居住者や施設管理者等が、自分の判断で避難行動をとる目安ではありますが、台東区に直接関係ない情報もあります。避難する場合は、区が発令する避難情報を参考に、適切な避難行動をとってください。

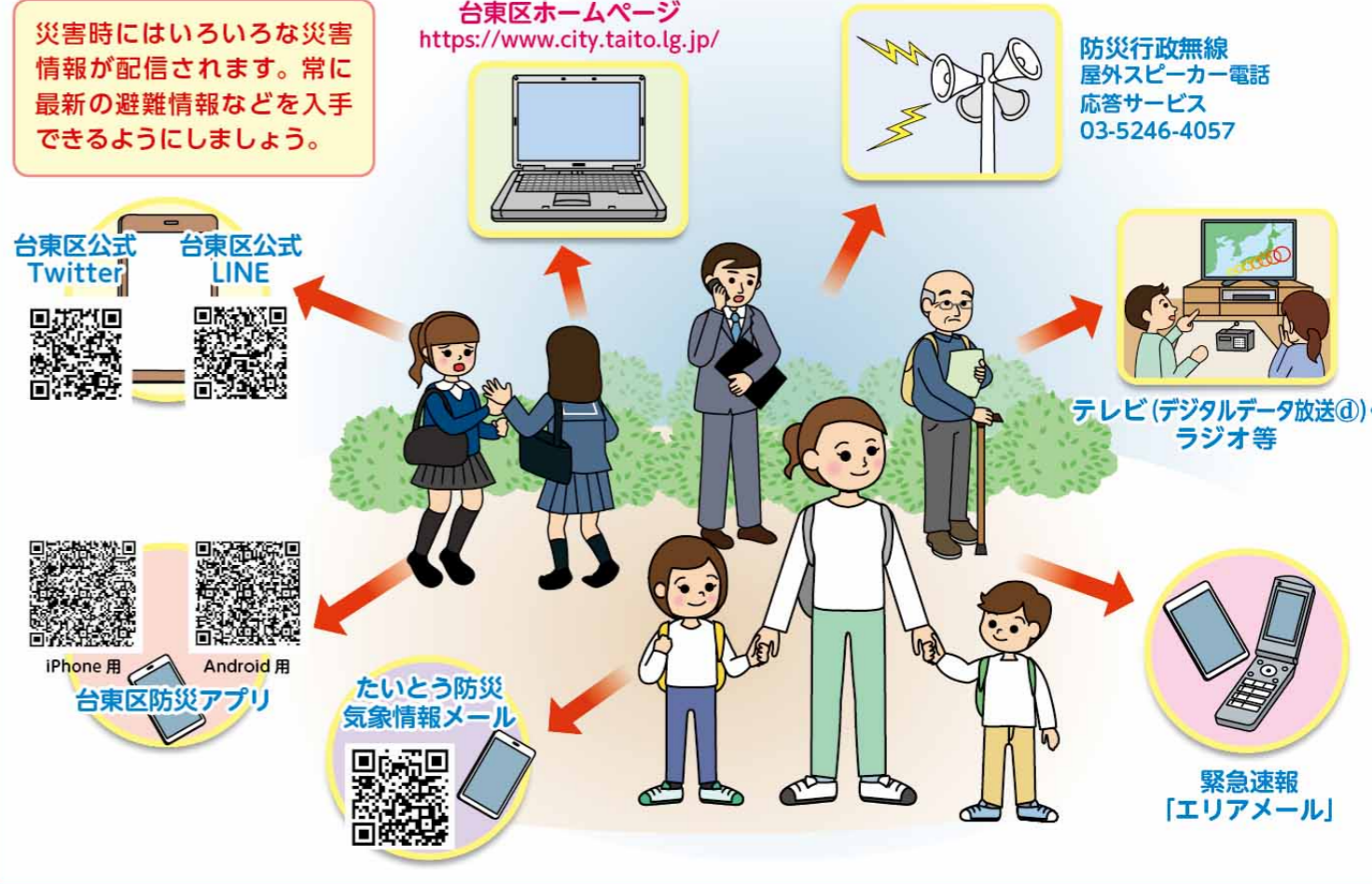
台風や大雨に関する情報は、気象庁等が発表します。指定河川の水位や流量等の情報は、気象庁と国土交通省または都道府県が共同で発表します。

警戒レベル	気象特別警報、警報、注意報等	指定河川洪水予報	とるべき行動
レベル1	早期注意情報(警報級の可能性)	—	最新の防災・気象情報等を確認するなど、災害への心構えを高めてください。
レベル2	大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報	氾濫注意情報	ハザードマップ等で、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認してください。
レベル3(相当)	大雨警報(土砂災害) 洪水警報 高潮注意報	氾濫警戒情報	区からの高齢者等避難の発令に留意するとともに、避難に時間がかかる方は、自ら避難の判断をしてください。
レベル4(相当)	土砂災害警戒情報 高潮特別警報 高潮警報	氾濫危険情報	区からの避難指示の発令に留意するとともに、避難指示などが発令されていなくても自ら危険と判断した場合は、避難を開始してください。
レベル5(相当)	大雨特別警報(土砂災害)	氾濫発生情報	災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況となっています。命を守るための最善の行動をとってください。

雨量や河川水位の情報を得られるホームページ

気象庁 内容: 気象予報をお知らせします。 アドレス: https://www.jma.go.jp/	荒川下流河川事務所 内容: 荒川の水位・雨量の他、ライブ映像も提供しています。 アドレス: https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/
川の防災情報(国土交通省) 内容: 全国の雨量、河川水位をリアルタイムで提供しています。 アドレス: https://www.river.go.jp/	東京アメッシュ 内容: 東京都の雨量をリアルタイムで提供しています。 アドレス: https://tokyo-ame.jwa.or.jp/
東京都水防災総合情報システム 内容: 東京都から出される水防情報をお知らせします。 アドレス: http://www.kaesen-suibo.metro.tokyo.jp/	台東区役所 内容: 台東区の水防情報や気象情報等をお知らせします。 アドレス: https://www.city.taito.lg.jp/

情報の収集



避難行動チェックリスト

あなたのお住まいや職場等で予想される浸水の深さや避難場所等を、以下のチェックリストを用いてあらかじめ確認しておきましょう。

- あなたのお住まいや職場等で予想される浸水の深さはどれくらいですか?
□0.1m~0.5m未満 □0.5m~1.0m未満 □1.0m~3.0m未満 □3.0m~5.0m未満
- 避難する場所を決めておきましょう。(自宅や避難場所)
(例)自宅 [] (例)〇〇小学校 []
- 自宅または職場等からの避難経路を地図に記入しましょう。
- 家族や近隣の方など、一緒に避難する方や、支援が必要な方の連絡先を記入しておきましょう。

名前	電話番号など	お住まい・職場・学校など

台東区では、内水氾濫ハザードマップの他にも、荒川・神田川による外水氾濫、高潮、土砂災害に関するハザードマップを作成し、公開しております。これらは、台東区のホームページでもご覧いただけます。

台東区内水氾濫ハザードマップに関するお問合せ
台東区 危機・災害対策課 ☎03-5246-1092
令和4年1月発行 / 令和3年度登録第9号